

激動の2022年を振り返って

眼科専門医を経て2022年に行政に足を踏み入れた新参者です。何かを語れるほどの知識も経験もないので、私個人としては生涯忘れることができないであろう1年となった2022年の備忘録にお付き合いください。

1月～2月 ニート生活 ひとり快活

前職を退職し入庁するまでの2か月間、人生初のニート生活を謳歌しました。
自宅アパート前の雪かきに精を出し、かまくらを造って長男を入れてみたり、雪で滑り台を造って滑らせてみたりと幸せな2か月でした。案外自分は社会と関わりがなくても楽しく生きていける人間なんだなあと実感してしまったりしました。

3月 保健所参入 土地を購入

とても中途半端な時期に入庁し、国立保健医療科学院の入試を受けたり新型コロナウイルス感染症対応を行ったりしていました。コロナ対応といっても入庁してすぐの何も分からない人間なので、せいぜい疫学調査の結果を受けて課長とPCR検査実施の範囲を検討したり、入院調整に上げるかどうかの検討をしたりといったくらいでした。ただ、今から考えると感染まん延後の時期よりは感染拡大防止に一役買っていた実感はあった気がします。

科学院入学直前に新居にちょうどいい土地が見つかってしまい、自分自身はあまり乗り気ではないものの勝手に転職した手前、妻の意向を尊重しなければという弱みもあり、土地購入の仮契約を行ってから、科学院のある和光市へ旅立ちました。

4月 科学院に入学 価格に驚愕

大学卒業以来の入学はなかなか新鮮でした。同期入学者の年齢層や今までの職歴などの背景が多様で非常に刺激になりました。自分の知識や経験値のなさで迷惑をかけたり置いていかれるのではないかと心配していましたが、皆優しく、また講義は面白く勉強になることばかりでした。

しかし困ったことに宿舍が寒く、お湯は出ず、住環境の大切さを痛感させられました。そのため新居

7月 科学院を卒業 娘の誕生

科学院研修最後の1週間は和光での集合研修でした。2か月間毎日オンラインで画面越しに顔を合わせていた仲間たちとのリアルでの再会はなかなか不思議な感覚でした。私は東日本大震災の年に大学を卒業したので卒業式がなく、今回同期たちと共に卒業式ができたことはとても良い思い出になり、これからの新しい生活へのモチベーションを上げることができました。

和光から帰った次の週に妻を救急外来に担ぎ込み、娘が誕生。コロナのため入院中の面会はできず、コロナ禍の中で預かり保育がなくなくなってしまった長男と1週間ほど耐え忍びました。

8月～9月 業務執行 新築着工

入庁早々に研修に専念していたためほぼ業務を行っておらず、また7月は娘が生まれたため少し休ませていただいたこともあり、フルで本格的に業務を開始したのは

8月からです。

自宅の新築計画は順調に進み、8月に基礎工事が始まりました。

自殺予防のキャンペーンに参加したり、増え続ける疫学調査の重点化・簡略化を図ったりとそれなりに保健所で働いている実感が湧いてきて、公私共に軌道に乗り始めたかに思われた9月の末、告げられたあの言葉「来月から所長になってもらいます」。

10月 所長に就任 現場を確認

私が優秀だったから…というわけでは当然なく、単純に公衆衛生医師不足で当保健所も所長が兼任であったこともあり、昇任の要件がそろった時点でそのまま所長の椅子に座ることに。経験不足・力不足は誰よりも自分が知っていますが、立場が人を育てるという言葉を通じて前に進むことにしました。昇任後初の建築現場確認で業者さんより「所長就任おめでとうございます」の一言…。地元新聞の影響力や恐るべし、と実感しました。

11月 新居の完成 コロナに感染

新居の引き渡しが無事に済んだその日の夜に長男が発熱、翌日のコロナ抗原検査で陽性が出ました。自分も微熱があったのですがすぐに陽性が出ると思いきやなかなか出ず、仕方ないので引き渡し直後の何も新しい新居に自己隔離をしました。床に寝袋を敷いての生活は非常に身体にこたえ、科学院の宿舍とは別のつらさを味わいました。結局抵抗をなく隔離2日後に陽性となりアパートに出入る形となりました。

12月 新居へ引っ越し 課題は繰り越し

11月末から12月上旬にかけて濃厚接触者からの陽性者になってしまったため引越し作業が遅々として進まず、結局引越し業者にはほぼ丸投げする形で引越しを行いました。運ぶ必要のない物まで新居に運び込んだので、積み上がった段ボールの中身は自分が仕分けたわけではなく、整理がまったく進まないの



秋田中央保健所長
齊藤 裕輔

秋田生まれの秋田育ち。2011年に秋田大学医学部卒業。2021年12月まで秋田大学医学部附属病院眼科勤務。2022年3月秋田県に入庁、同年10月に秋田中央保健所所長に就任。

は寒くない家になりたい、との強い思いを胸に抱いて秋田へ帰りました。しかし、高機能な家というものはそれはそれは建築にお金がかかるもので…。

5月～6月 Zoom接続 契約締結

コロナ禍ということもあり、集合研修1か月の後は約2か月のZoomによるリモート研修となりました。途中で接続が切れてしまったり、肩凝りと腰痛に苦しんだりしていましたが、なんとか乗り切りました。環境を整え研修に専念させていただいた職場には感謝しかありません。

研修期間はある程度時間的余裕もあり、毎週末のようにモデルハウスや展示場に通い詰め、自宅建築の業者を決定し契約を結ぶことができました。

す。段ボールの片付けは新年に繰り越しとなりました。

今後の心構えとして

公私共にさまざまなことを経験した2022年でしたが振り返ってみると自分はどこか成長できたのか、何か身に付いているのか、単にバタバタと慌ただしく過ごしていただけではなかったのかと疑問でもありました。

2023年こそは腰を落ち着けてじっくりと力を蓄え成長できる年にしたいと実践中です。

立場は所長ですが、当保健所の中でも一番経験がない新人であることには変わりないので、ある意味開き直って分からないことは分からないと素直に認めて教えていただく、そのようなスタイルでやっていこうと考えています。また、何も分からないという事は逆に慣習や先入観にとらわれないという強みとして生かすことも可能だと思おうので、良い意味での素人感覚を忘れずに所長としての経験を積んでいきたいです、と宣言をしたところで拙い文章ですみませんが筆をおかせていただくと思います。